

労働災害の約8割は、停車時に発生

停車中の危険は、すぐ側に

フォークリフトからの降車時、足を滑らせて転倒編

労働災害は、いつ発生するか分かりません。しかし、事前の対策によりその多くは防止できるでしょう。今回は、フォークリフトから降りる際に、足を滑らせて転倒した災害例および対策を紹介します。

災害例

フォークリフト降車時に転倒した

作業者は、フォークリフトでパレット積みのダンボール箱を工場から倉庫まで移送していた。作業を終え降車の際に足を滑らせ、フォークリフトに頭を強打した。夕方、倉庫内を見回りに来た従業員が、倉庫入口でふらつき気味に立っている作業者を発見し声をかけたが、意識が低い状態であり出血していたため救急車を手配した。



原因

- 作業者が乗るフォークリフトを、駐車している別のフォークリフトの右側に止め、右側から前向きで降りた
- 大雨の後であったため、路面およびフォークリフトが滑りやすい状態であった

対策

- フォークリフトの左側にある、昇降用ステップを使用して降車できるような向き・位置に駐車する
- ヘッドガードの支柱に昇降用取っ手を取り付ける
- 降車時は、ステップのある側から必ず取っ手をつかみ、後向きで降車する
- 安全作業手順書を再整備し、関係者全員に周知するとともに遵守させる

冬季は転倒災害に要注意！

事故事例でも紹介した転倒事故。今の季節は、積雪や路面の凍結による転倒の危険も高まります。思わぬ事故を防ぐためにも、焦らず落ち着いて行動してください。

■冬季の転倒防止策

①天気予報に気を配る

寒波が予想される場合などには、スタッフに周知し早めの対策を

②駐車場の除雪・融雪は万全に、出入口などにも注意

駐車場内や駐車場から職場までの通路に、除雪や融雪剤の散布を実施。また、出入口には転倒防止用マットを敷き、照明設備を設けて夜間の照度を確保する

③歩行方法などを教育

屋外では、小さな歩幅で靴の裏全体を地面に付けて歩くように。作業に適した履物選びや凍った路面上での歩き方を教育する

